

平成25年度 事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	地域の教育活動振興						継続				
コード	24	-	86	-	02	-	00	予算事業名	地域の教育活動振興		
担当部署	教育総務部	中央公民館			管理担当		予算事業コード	会計 10	款 10	項 06	目 06

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け(太枠内)			位置付けなしの場合			法令による実施義務			義務ではない		
基本目標(章)	2章	学びと交流を深め、豊かな心を文化をはぐくむまち	実施計画事業名			なし					
方向性(節)	1節	活力ある地域を創る生涯学習の推進	個別計画等の名称			教育振興基本計画 生涯学習基本計画					
施策	2	生涯にわたる学習活動の推進	当事業に関連する事務事業			公民館活動の充実					
細施策	3	地域の教育力の向上									
事業実施の根拠となる法令・条例等	教育基本法第13条、第39条及び第42条 社会教育法第3条 町内公民館講座開設補助金交付要綱										

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するか)	子どもたちの生きる力を育むため、学校・家庭・地域社会の連携を更に深め、地域や学校での学びを支援するためのシステムを整備し、個々に行われる事業を支援し、また、地域の教育力の向上を図るため、地域ぐるみで教育活動を進めます。										
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	地域の公民館活動を支援するため、補助金を交付する。地域の教育力向上を図るため、主催事業、市との共催事業を開催することにより、地域教育活動の振興と地域社会の調和、発展を図る。										

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額	4,798	4,374	4,326	4,325	4,325	
(25年度予算額大幅増/減の理由)						
事業費	A	4,586	4,232	4,228	4,253	4,325
人件費	B	12,473	12,473	12,473	12,473	12,473
総コスト(C=A+B)		17,059	16,704	16,701	16,726	16,798
正規職員(1年間の従事人数)		1.70人	1.70人	1.70人	1.70人	1.70人
臨時職員(1年間の従事人数)						
国県支出金	D					
その他特定財源	E					
市の財政負担(=C-D-E)		17,059	16,704	16,701	16,726	16,798

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値	
成果	公民館等の生涯学習事業参加者数	人	93,530	75,876	91,643	90,638	92,000	27年度 103,000
	指標の定義・説明	公民館等の生涯学習事業参加者数を目標値としたものである。						
成果	地域の教育活動支援に関する参加者数	人	10,690	13,753	27,969	29,462	29,462	27年度 29,462
	指標の定義・説明	地域教育活動に関する参加者数						
	指標の定義・説明							
	指標の定義・説明							
指標に基づく評価	順調に事業を進めているところである。							

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況	効率性に課題	公平性に課題	
予算が限られており、申請団体が多くなった場合、町内公民館講座開設補助金の按分により対応することとしている。地域の教育力向上を図るため、主催事業、市との共催事業を開催するとともに、事務支援も含めて効率的に実施することが望まれる。			
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)			
坂戸市が公民館の交流センター化を目指しており、地域交流のあり方について、平成25年度に住民説明会を行っているところである。			
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響			
市民部が進めている市民センター構想に伴い、市民センター化される公民館と単独公民館との公民館事業の役割分担が必要になる。また、公民館事業は、男女協働参画基本計画・子育てプラン・環境基本計画などの各種個別計画と連動しており、進行管理に支障が発生する。			

平成25年度事務事業評価 方向性提示シート

所管部署		教育総務部				中央公民館	管理担当
事務事業名称		24	86	02	00	地域の教育活動振興	
今後3年間の方向性	25年度	改善(見直し)		限られた予算の中で拡充も含めた検討しながら、より効率的かつ効果的に事業を実施できるように各公民館と連携を密に取りながら進めていく。			
	26年度	継続		将来目標値の達成のため、より効率的かつ効果的に事業を実施できるように各公民館と連携を密に取りながら進めていく。			
	27年度	継続		将来目標値の達成のため、より効率的かつ効果的に事業を実施できるように各公民館と連携を密に取りながら進めていく。			